

宗像市の場合は、コミュニティ施策を中心にまちづくりを行っているが、コミュニティに対する情報提供をまずやってほしい。事務局長会議、会長会議などで本計画を伝え各地区に1冊ずつ配布し、それを受けて地域がどう動くかになると思う。

○委員

私は鐘崎地区に住んでおり、鐘崎の文化が重点に入っており大変ありがたいが、文章ではスムーズに頭に入っていない。小学生や中学生に学習の一環として教えるなら今のままでいいと思うが、宗像の住民に宗像の誇りである歴史文化を伝えたいのであれば、例えば映像で残したり、地元の人が語ってくれているものを残すといったような保存活用がまず必要と思う。

○事務局

皆さんとよく話し合いながら検討する。

○委員

鐘崎の話がでていますが、その中で語り部という話と、もう一つは国の登録有形文化財が漁撈用具と船大工関係がもしかしたら岬コミセンの倉庫の中にあると思うが、貴重な有形文化財なので、その活用方法を今後どのように進めていくのか。

○事務局

具体的な活用としては、岬コミセンの文化祭での展示や当館でのミニ展示などになる。また、むなかた電子博物館の中で漁具などのデータベースを公開しているので、調べ学習等は可能。活用の際はは様々なアイデアをいただきたい。

○委員

昔の調査を行うのであれば最後のチャンスと思う。

○委員

子どもは日頃から市民活動団体としていろいろな活動をしている。PRに関連して子どもたちには教育しているが、他団体と協力をしてPRをかねて活動をする。人材育成とそれに伴う予算等を含めしっかりやっていきたい。

○委員

地域に歴史研究や調査をしている団体がたくさんある。そのような方々にこの計画を知らせて、地域でも計画する。文化財の保護や活用のすばらしさを伝え、地域で活動している団体に知らせてネットワークのようなものを作るのも方法かと思う。

○事務局

ネットワークに関しては、新たに協議会を作って情報共有を図る、他団体から参加していただくような機会を設けていきたい。

○会長

周知に関する話でコミュニティセンターという話があるが、この冊子をそこにも配っているか。

○事務局

若干の残部があるのでコミュニティセンターや団体に配りたい。

○副会長

地域活用計画にコミュニティの地区名が表示してある。各委員から意見が出ているのは各地区の歴史や文化に対するご意見かと思う。コミュニティセンターに配布するのは当然で、そこから各委員と地域の方団体と計画を知らせて意見交換する事が大事かと思う。太宰府ではその土地の神社の氏子区域、小学校校区になっている。宗像市ではコミュニティの単位で概要版を配っているかと思うが、各区やコミュニティの特性をふまえて、学習会や地元のワークショップ等を今後計画しているか。

○事務局

コミュニティ単位では未実施だが、自治区単位では勉強会や意見交換会の形でおこなったことがある。

○副会長

既存の組織や施設をそのまま活かしていった方が持続的にやれるのかと思う。

○委員

河東コミュニティに属しているが、区長会やまちづくり部会があるので周知の仕方は部会の中で意見交換は可能と思う。市民遺産の制度、未指定の歴史文化遺産保護するため、市登録制度を創設するとあるが、具体的にはどんな制度か。

○事務局

県内で知られている太宰府市の市民遺産参考にできるかと思う。登録、保護まではいかないが、状況把握、検証する意味合いで時間はかかるが「市民遺産」的なものを検討したい。

〔審議〕

2) 進捗管理について〔資料3〕

○事務局

進捗管理に際しては進捗管理シートを作成する。

シートの作成に際しては「歴史的風致維持向上計画」「世界遺産のあるまちづくり計画」等の関連計画の進捗管理を活用しながら整合のとれたものとする。

本計画の進捗管理は「歴史的風致維持向上計画」の進捗管理では、見えづらい取組（ソフト事業）を中心に記載する。

シートは1) 方針別 2) 効果 3) の3項目で構成する。

○委員

ソフト事業中心という事だが、認定を受けて達成することによって財源的に有利な点等があるのか。

○事務局

国の補助事業を優先的に採択される点にある。各種文化財関係補助事業の申請時には地域計画の認定を受けているといことを記載することができる。

○委員

市の取り組みに関して、私共委員が評価するという事か。サイクルはどのくらいになるのか。

○事務局

サイクルは年1回はシートを作成し、昨年度の報告を行い、課題や意見を頂きながら、次の事業に反映させたい。

○委員

取り組まれた結果だけの報告を受けても、いいのか悪いのかわからない。取り組んだ結果、こうなったというようなものをもらえるとわかりやすい。

○事務局

単純な評価だけではなく、課題やご意見を頂き評価にしていきたい。

○委員

国への報告は義務なのか。

○事務局

報告義務はない。

○委員

計画の中身として、通常業務とは別にしっかり行っている部分とあるのではないかと。力を入れておこな

っている事業を伝えることによってわかりやすくなるのではないか。意見を出しやすい状況になる。来年度の計画に活かしていけると思う。

○副会長

我々が審議する時に指標や基準が必要となる。よくあるのは、ABCDで判定する、数値で達成率を表すなど、考えているか。現在のシートだと文章だけで、我々が判断するのに、特に新しい一般の方にはわかりづらい。

○事務局

単年度ごとの評価はこの記載しているシートで行いたい。改善点、問題点を明らかにして、次年度以降目標に向けてどのように展開していくかというご意見をいただきたい。

○委員

活用地域計画の課題として、資料の自己評価的部分をみると全部、未整理、不十分などの表現が多い。自己評価するにしてもマイナスからの出発となる。肯定的な部分も含めて、出していただきたい。

○事務局

皆様に評価いただく時は肯定的な部分にプラスアルファの意見をいただければと思う。

○会長

不十分や至っていないなどの表現があるが、それをどう補っていくのかという方向になる。

○副会長

タイムスケジュール等、10年間のどのタイミングで中長期、短期間のものとあるので、どのタイミングで我々が評価するのか、共有、説明してもらえるといいと思う。

6. その他